

アッガラーム・アレイクム

イスラマバード日本人学校
教諭 島山 稔

前回の**パキスタンクイズ** 正解は②の「柿」です！

パキスタンで「ジャパニー・パル」日本語にすると「日本の果物」と呼ばれている果物は「柿」です。きっと日本人が持ち込んだんでしょうね。秋になるとたくさんの柿がマーケットに出回りますが、すべて渋柿です。息子が家庭科の授業で干し柿の作り方を習ってきたので、我が家ではもっぱら干し柿にして食べていました。



②柿

現地の公立学校を訪問しました('10.11/29)

運動会後の振替休日を利用し、イスラマバード郊外の2つの公立学校を視察しました。



最初は、女子の小学校。先生もすべて女性であった。教室に入ると、ショールを頭からかぶっている子が目につく。児童数に見合う机がなく、肩を寄せ合って勉強している。

下の段は、廊下で授業を受けている様子。2つの学年が廊下で授業を受けていた。廊下と言っても、雨をしのげるだけで外にいるのと同じである。理由は単純に教室が足りないから。訪問した11月は涼しくて気持ちいいくらいだが、冬の冷え込みの中や、夏の猛暑（連日40℃越え）での授業は過酷であることは容易に想像できる。学校施設の不足は、この国でよくあること。



次に訪問したのは、男子の小中学校。今度は教員全員が男性。教室は殺風景で、必要最小限のものしかない。（日本の学校がいかにも、物に恵まれているかがわかる。）右の写真では、なぜか小学1年生と2年生がひとつの教室にいた。この学校は十分な教室があるのになぜか聞いてみると、先生の欠席がこの日は多く、隣の教室の先生がいっしょに見ているということであった。と言っても、ほぼほったらかしで、先生は隣の教室で授業をしている。低学年の子たちの間に立っている白いワイシャツを着た生徒が、子守をしているという状況であった。教員の休みがあっても、代わりがない上、教員のモラルが低く安易に休んでしまうということである。パキスタンの教育問題はかなり根深いようだ。



パキスタンクイズ

教育環境は、日本のそれと比べると比較にならないほど劣ってるようです。では、どれくらいの子がちゃんと学校に行ってるでしょう。パキスタンでの初等教育の就学率を下から選んでみてね。

①60%台 ②70%台 ③90%台